

上智大学

新聞学科 特別プログラム

in 大阪

2022年

8月19日 金

会場：上智大学大阪サテライトキャンパス

上智大学文学部新聞学科はジャーナリズム、マス・コミュニケーション関係の学科としては、日本で最も古い伝統ある学科です。理論と実践の両面から効果的に学べるカリキュラムにより、教員と学生の密度の濃い教育環境が整っています。教員の専門領域も多彩で、学生の問題意識に沿った極めて質の高い教育を受けることができます。今回のイベントは、体験授業や学生の作品上映を通して、新聞学科の魅力を体験いただけます。

第一部

13:00~14:30

新聞学科 体験授業

グローバル社会とメディアリテラシー

文学部新聞学科 准教授 国枝 智樹

※これらのプログラムは生徒の方のみ参加いただけます

私たちは日々、テレビやスマホを通して世界のニュースに触れています。しかし、私たちがどんなニュースに触れ、どんな影響を受けているのかについては意外なほど無自覚です。ニュースの影響を理解することは自分の世界観を理解することにもつながります。

この授業ではメディアリテラシーの視点からニュースの影響について考え、グローバル社会において求められる情報とのつきあい方について議論します。



国枝ゼミ

国枝ゼミでは社会における様々な課題を、メディア・コミュニケーションを通して解決する可能性について模索しています。広報・PRと広告に関する理解を文献購読や事例分析を通して深め、実際にコミュニケーション戦略を立案することで実践的な課題解決能力を高めます。2年次は主に企画立案を、3年次は共同研究と個人研究を、4年次は卒業論文の執筆を行います。

第二部

14:50~16:30

学生制作

ドキュメンタリー作品上映会

新聞学科の水島ゼミは、実際に取材現場に行って“ジャーナリズム”を実践する実践型のゼミです。学生自らカメラを片手に取材者に迫り、一からドキュメンタリーを制作します。

2021年度は12作品が外部コンクールで正式ノミネートされたり、入賞したりしました。今回は関西のコンペティションを受賞した作品を含む3作品を上映します。制作した学生から直接作品解説と質疑応答の時間も設け、作品に対する思いや制作秘話に迫ります。

上映作品

山谷再生物語

第33回丹波篠山映像大賞 兵庫県知事賞受賞

Sister

FFC学生ドキュメント映像祭受賞

曇天五輪

東京ビデオフェスティバル2021TFVアワード入賞
地方の時代映像祭奨励賞受賞

※会場アクセス、作品紹介は裏面をご覧ください

イベントの参加には事前申込が必要です

事前申込は、7月8日(金) 17:00から上智大学大阪サテライトキャンパスWebサイト内所定の申込フォームで受け付けます。

※各プログラム先着順の受付となり、定員に達し次第申込を終了します。

※やむを得ずイベント内容を変更・中止する場合がございますので予めご了承ください。



▼申込詳細はこちら▼

<http://www.sophia-osaka.jp/>

上智大学

文学部 新聞学科

学生制作ドキュメンタリー作品上映会

2022年

8月19日 金

14:50~16:30

会場: 上智大学大阪サテライトキャンパス

新聞学科の水島ゼミは、実際に取材現場に行つて“ジャーナリズム”を実践する実践型のゼミです。学生自らカメラを片手に取材者に迫り、一からドキュメンタリーを制作します。2021年度は12作品が外部コンクールで正式ノミネートされたり、入賞したりしました。今回は関西のコンペティションを受賞した作品を含む3作品を上映します。制作した学生から直接作品解説と質疑応答の時間も設け、作品に対する思いや制作秘話に迫ります。

山谷再生物語 33回丹波篠山映像大賞 兵庫県知事賞受賞

オンライン登壇・作品解説: 倉持 陽菜子 (新聞学科3年生)

「山谷再生物語」は新聞学科の倉持陽菜子さん、丸橋里花さん、藤井健輔さんの3人が制作したドキュメンタリー作品です。かつて日本の高度成長期の建設工事現場を支えた日雇い労働者の街として貧困の象徴のようだった東京・山谷地区の住民たちが、高齢化にともなう行き場を失う中で「再生」を目指す姿を追った作品です。審査員からは「山谷の難しい取り組みにスポットを当てたのが良かった」と高く評価されました。

Sister FFC学生ドキュメント映像祭受賞

オンライン登壇・作品解説: 福田 みなみ (新聞学科4年生)

大阪を拠点とする映像編集・制作会社の株式会社フリー・フォーム・カンパニーが主催する「FFC学生ドキュメント映像祭」において、福田みなみさんによる「Sister」は入賞を果たしました。「Sister」は、最愛の妹を自死で亡くした女性に焦点を当てた作品です。「身近にいなから、なぜ気づいてやれなかったのか？」と自責の念が募るなかで、自死遺族の心境を伝える活動をする女性の現在をとらえた作品です。福田さんは「故人の苦悩に気が付かなかった自分を責め、人知れず苦しむ自死遺族が多くいることを知っていたくきっかけになれば幸いです」と話しています。

曇天五輪 東京ビデオフェスティバル2022TVFアワード入賞 地方の時代映像祭奨励賞受賞

オンライン登壇・作品解説: 村上 真惟 (新聞学科3年生)
大澤 知世 (新聞学科3年生)

「曇天五輪」は東京五輪が開催される直前に無償のボランティアに登録した女子学生が、有償で同じ作業をするアルバイトを選ぶ学生も出るなかでの中心にフォーカスした作品です。ボランティア学生の視点からとらえたセルフ・ドキュメンタリーの本作は、「市民による市民のための映像祭」と呼ばれ、ドキュメンタリーやCG、アニメーション、ドラマなどジャンルを問わずに競い合う映像作家の登竜門「東京ビデオフェスティバル2022」と、「地方の時代」映像祭奨励賞とのダブル受賞となりました。

お問い合わせ

上智大学 大阪サテライトキャンパス
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-12-8 サクラファミリア 2階

メール osaka_sc-co@sophia.ac.jp 電話 06-6450-8741 (平日10:00~18:00)

アクセス

- 地下鉄御堂筋線「中津駅」4番出口より徒歩3分
- 阪急「大阪梅田駅」茶屋町口より徒歩4分
- JR「大阪駅」御堂筋北口より徒歩10分



<http://www.sophia-osaka.jp/>

イベントの参加には事前申込が必要です

事前申込は、7月8日(金)17:00から上智大学大阪サテライトキャンパスWebサイト内所定の申込フォームで受け付けます。

※各プログラム先着順の受付となり、定員に達し次第申込を終了します。

※やむを得ずイベント内容を変更・中止する場合がございますので予めご了承ください。

